

情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波利用環境委員会 CISPR H 作業班(第 21 回)

議事要旨

1 開催日時：令和 8 年 7 月 24 日(金) 13:30～14:55

2 開催場所：Web 会議開催 (Cisco Webex)

3 出席者（敬称略）

【構成員】後藤主任(NICT)、雨宮主任代理(VCCI)、井上構成員(JEMA)、長部構成員(VCCI)、島先構成員(VCCI)、高橋構成員(NHK)田島構成員(NTT-AT)、徳田構成員(東京大学大学院)、永野構成員(EMCC)、東山構成員(ドコモ)、前川構成員(ダイキン工業)、松本構成員(NICT)、三塚構成員(TELEC)

【関係者】久保田関係者(TELEC)

【事務局】総務省：加藤電波監視官、郷藤電磁障害係長、内田官

議事要旨

(1) CISPR H 小委員会 WG 等 国際会議審議結果

WG1 の審議結果について、島先構成員より資料 21-1-1 に基づき説明が行われた。質疑応答は以下のとおり。

田島構成員：RVC の許容値について、APD 測定は将来課題とすると記載があるが、Griffin 氏から CISPR 32 で審議が進んでいるとある。これは SC/I は進んでいるが SC/H はそうではないということか。

島先構成員：然り。Griffin 氏の発言は、SC/I が進んでいるので SC/H でも進んでほしいというリクエストの趣旨かと思う。

次に、WG8 の審議結果について、松本構成員より資料 21-1-2 に基づき説明が行われた。特に質疑応答は無かった。

次に、JWG6 の審議結果について、前川構成員より資料-21-1-3 に基づき説明が行われた。質疑応答は以下のとおり。

三塚構成員：使われている PLC は 2～30MHz を使用する OFDM 形式のものか。

前川構成員：形式は不明だが、CENELEC バンドと呼ばれる 90～130kHz を使う低速のものである。

(2) CISPR H 小委員会 ハンブルク会議 対処方針(案)について

CISPR H 小委員会 総会の対処方針案について、後藤主任より、資料 21-2-1 に基づき説明が行われた。補足・質疑応答は以下のとおり。

田島構成員：6. コンビナーの確認のところで、JAHG とあるのは、JAHG6 のことかと思う。

後藤主任：修正する。

次に WG1 の対処方針案について、後藤主任より資料 21-2-2 に基づき説明が行われた。特に質疑応答は無かった。

次に WG8 の対処方針案について、後藤主任より資料 21-2-3 に基づき説明が行われた。特に質疑応答は無かった。

(3) 電波利用環境委員会報告(案)について

後藤主任より資料 21-3-1 及び資料 21-3-2 に基づき説明が行われ、承認された。特に質疑応答は無かった。

(4) CISPR H 小委員会 参加者(案)について

参加者案について、後藤主任より資料 21-4 に基づいて説明が行われ、承認された。特に質疑応答は無かった。

(5) その他

資料 21-3-1、資料 21-3-2 及び資料 21-4 を、8 月 19 日(水)に開催される電波利用環境委員会(第 68 回)で報告する。

次回の作業班については、事務局より別途連絡する。

以上